

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2004-219923(P2004-219923A)

【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-030

【出願番号】特願2003-9769(P2003-9769)

【国際特許分類】

**G 0 3 G 15/00 (2006.01)**

**F 1 6 C 13/00 (2006.01)**

**G 0 3 G 15/02 (2006.01)**

**G 0 3 G 15/08 (2006.01)**

**G 0 3 G 15/16 (2006.01)**

**G 0 3 G 15/20 (2006.01)**

**B 2 9 C 44/00 (2006.01)**

**B 2 9 L 31/32 (2006.01)**

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 0

F 1 6 C 13/00 E

G 0 3 G 15/02 1 0 1

G 0 3 G 15/08 5 0 1 D

G 0 3 G 15/16 1 0 3

G 0 3 G 15/20 1 0 2

B 2 9 C 67/22

B 2 9 L 31:32

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 芯金を成型金型内周面と同心軸上に保持するための蓋体を両端に有する円筒状の成型金型を用いて、ポリマー原料と添加剤を配合し混練された未加硫原料組成物を円筒状に成型した後、得られた成型品を該芯金と共に該金型内に配置して加硫と発泡を行って得る画像形成装置用発泡ローラにおいて、該芯金として多孔質体を用いることを特徴とする画像形成装置用発泡ローラ。

【請求項2】 前記多孔質体の平均孔径が1～100μmである請求項1に記載の画像形成装置用発泡ローラ。

【請求項3】 前記多孔質体の体積抵抗が $10^9$ ・cm以下である請求項1又は2に記載の画像形成装置用発泡ローラ。

【請求項4】 前記円筒状の未加硫原料組成物が、未加硫未発泡原料組成物の外周上に少なくとも一層の未加硫非発泡原料組成物を形成してなるものである請求項1～3のいずれかに記載の画像形成装置用発泡ローラ。

【請求項5】 前記画像形成装置用発泡ローラが導電性を有する請求項1～4のいずれかに記載の画像形成装置用発泡ローラ。

【請求項6】 電子写真感光体表面に接触配置されて該電子写真感光体表面を帯電す

る帯電ローラである請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の画像形成用装置発泡ローラ。